



# 雄物川上流



No.197 発行日 平成22年11月30日  
国土交通省 東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所 十文字出張所  
〒019-0522  
横手市十文字町字西上38-3  
TEL 0182-42-0109  
FAX 0182-42-2881

## 緊急時における オイルフェンス設置訓練実施 ～湯沢市松ノ木河川公園～

11月11日(木)湯沢市にある松ノ木河川公園で、雄物川の沿川において油流出事故を想定したオイルフェンスの設置訓練が行われました。

訓練は毎年寒くなり暖房などで灯油の使用が増えるこの時期に行っています。

今回の訓練では、県や市町村の担当者をはじめ、広域市町村圏組合消防本部の消防署員が訓練に参加し、オイルフェンスの使い方などを再確認しました。

油流出事故はちょっとした不注意で起こることが多いのです。事故を起こすと、油の回収、処理にかかった費用**1缶当たり約50万円が全て、原因者が支払うこと**になりますので日頃からご注意をお願いします。

参加者が整列している様子



油の種類による油膜の違いを確認している様子



実際にオイルフェンスを設置している様子



※オイルフェンスとは事故や過失によって油が河川や水路に流出した際に、せき止めたり回収する事に使用される道具のことです。

## 湯沢市流雪溝利用組合連合会の方々が現場視察をしました

10月29日(金)湯沢市流雪溝利用組合連合会約20名の方々が、湯沢市の消流雪用水導入事業と湯沢統合堰改築事業の現場視察をしました。

湯沢市では克雪対策として流雪溝が整備されてきました。しかし、流雪溝に流れる水が足りず、流雪溝が閉塞し、市内の道路が冠水したり、雪を流雪溝に流すことが出来ないため、道路の幅が狭くなり子供達の通学の支障になることもあります。

そのため国土交通省では、水量の豊富な河川の雄物川から市街地を流れる小支川(松沢川及び鉦打沢川(白子川))に消流雪用水を供給するための導水路等の整備を行っています。

参加者からは、「雄物川から流雪溝に流せるだけの水が確実に取水出来るのか」、「現状の松沢川に用水供給されることで、雪で閉塞された状態が改善されるのかどうか」などの質問が寄せられました。また「湯沢大堰水路が溢水することはないのか」などの質問もありました。

事業の広報看板を見て説明を受けている様子



(愛宕地区取水施設にて)

視察の様子



(愛宕地区取水施設建屋内にて)



(湯沢統合堰右岸にて)